



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社岡村製作所
代表者名 代表取締役社長 中村 雅行
(コード番号 7994 東証第一部)
問合せ先 常務取締役企画本部長 土志田 貞一
(TEL. 045-319-3440)

中期経営計画（2017 年度～2019 年度）について

当社グループは、中長期の成長を目指した安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

この度、これまでの業績および現在の事業環境などを踏まえて、2020 年 3 月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

1. 中期経営計画の目標

足元の国内経済は、英国の EU 離脱問題や米国の新政権発足、中国及び新興国経済の減速懸念など依然不透明感が残るものの、企業収益は底堅さを見せ、省力化や生産性向上に向けた取り組みが積極的におこなわれるなど明るさもみられており、緩やかに成長するものと予想しております。

このような状況の中、当社は下記の経営目標値の達成に向け、基本戦略に掲げる重点事項を実施し、業績向上を図ってまいります。

【 経営目標値（連結）】

	2020 年 3 月期
売 上 高	2,650 億円
営業利益	160 億円
経常利益	168 億円
当期利益	114 億円
売上高営業利益率	6.0%

2. 中期経営目標達成のための基本戦略

① 競争力の向上

市場の変化や多様化する顧客ニーズを捉えた特徴あるソリューション提案と高付加価値製品の展開により、他社との差別化を図り、販売価格の改善と利益率向上に努めてまいります。生産においては、更なる生産性向上に向けた自動化を推進、また調達力の強化とサプライチェーンの見直しを同時に推し進めます。これらを支えるすべての業務において、効率化に向けた見直しをおこない、より高度な仕組みや情報インフラの整備を進め、市場競争力の向上に努めてまいります。

② 国内事業基盤の強化

各事業の顧客市場における省力化や生産性向上の取り組みを捉え、これに寄与する提案力と製品開発の強化を図ってまいります。また、各事業間の連携強化やアライアンス、M&Aの推進などにより、各事業領域の拡大に努めてまいります。オフィス環境事業においては、主力の民間オフィス市場はもとより、病院・福祉施設、教育施設、研究施設、官公庁・自治体などのオフィス周辺市場の需要開拓に注力します。また、商環境事業においては、変革する小売店舗に対応した「少し先行く」製品の開発強化に努めてまいります。物流機器事業においては、市場の自動化ニーズは高く多様化しており、インテグレーション型への転換により競争力を高めてまいります。

③ グローバル化による市場拡大

海外事業基盤確立のため、海外、とりわけ東南アジアにおける販売拠点の整備や代理店の獲得による販売ネットワークの拡大に取り組むとともに、各種展示会への積極的な出展により、オカムラブランドの一層の浸透に努めてまいります。また、これまで注力のハイエンド市場の更なる深耕に加え、成長著しい新興市場の開拓も推進してまいります。

以 上

(ご参考)

【セグメント別売上高（連結）】

	2020年3月期
オフィス環境事業	1,410億円
商環境事業	1,055億円
その他	185億円
合 計	2,650億円